

IT・Suica事業

Suica

当社は、1990年から東京近郊区間(東京100km圏)に磁気式の定期券・乗車券を用いた自動改札システムの導入を進めてきました。この磁気式出改札システムも導入から10年経過した時点で、その設備更新の時期を迎えました。一方で各分野で将来的な発展性が見込まれるICカードの鉄

道事業への応用について会社発足時(1987年)から開発、検討を行ってきました。これにより、2001年11月18日に、次世代の出改札システムとしてICカードを用いた新しい出改札システムを導入しました。

ICカードの名称

「スイスイ」行ける「IC」カードの意味。
Super Urban Intelligent CArdの略。

特長

改札時	バスケースに入れたまま、改札機に軽く触れるだけで通過可能です(タッチ&ゴー)
自動精算	定期区間外でも改札機にタッチするだけで自動精算が可能のため、きっぷの購入やのりこし精算が不要になります
繰り返し利用	入金(チャージ)機能と定期券のリライト(券面書替)機能で、1枚のカードを繰り返し利用できます
Suicaネットワーク	ICカードの情報をカードごとに管理することにより、利用履歴の管理・Suica定期券の紛失時の再発行等を行います
電子マネー	入金(チャージ)したお金が、お店でのお買い物にもご利用いただけます

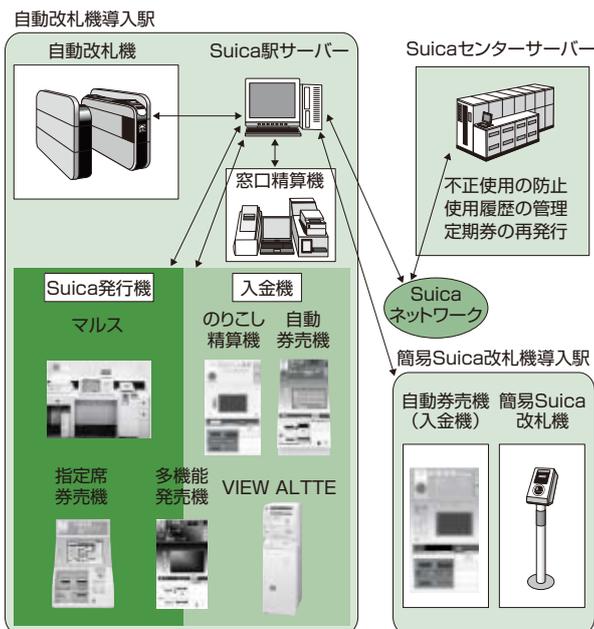
コンセプト

サービスアップ	利便性の向上と新たなサービスの提供
システムチェンジ	駅でのキャッシュレス化、チケットレス化
コストダウン	可動部の減少等によるメンテナンス・イニシャルコストの削減
セキュリティアップ	偽造・変造カードの使用防止
ビジネスチャンス	Suicaの新たな可能性を追求し、新ビジネスを展開

自動精算 Suica定期券の自動精算イメージ



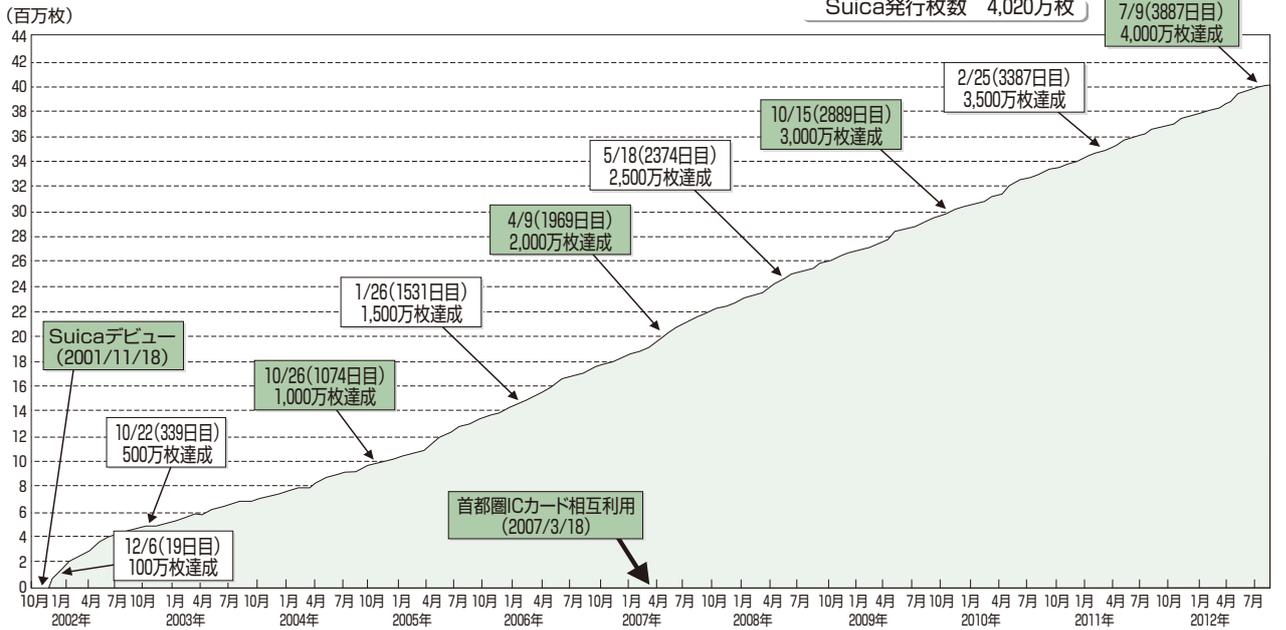
Suica出改札システム取扱機器



Suicaのあゆみ

2001. 11. 18	Suicaの本サービス開始(424駅)
2002. 4. 21	東京モノレール(株)との相互利用開始
10. 22	Suica発行枚数500万枚
12. 1	東京臨海高速鉄道(りんかい線)との相互利用開始
2003. 7. 1	「ビュー・スイカ」カードサービス開始
10. 12	Suica定期券による新幹線利用サービス開始
10. 26	仙台エリアでのSuicaサービス開始
2004. 2. 23	JR東日本本社ビルにSuicaによる入退館システム導入
3. 1	(株)ICカード相互利用センター設立
3. 3	JR品川イーストビルにSuica入退館システム導入
3. 22	Suica電子マネーサービス開始
8. 1	JR西日本「ICOCA」との相互利用開始
10. 16	「グリーン車Suicaシステム」導入
10. 26	Suica発行枚数1,000万枚
2006. 1. 21	新潟エリアでのSuicaサービス開始
1. 26	Suica発行枚数1,500万枚
1. 28	モバイルSuicaサービス開始
2007. 3. 18	「PASMO」との相互利用開始
4. 9	Suica発行枚数2,000万枚
6. 1	「Suicaポイント」サービス開始
2008. 3. 15	「モバイルSuica特急券」サービス開始
	首都圏・新潟エリアでのSuicaエリア拡大
3. 18	JR西日本「ICOCA」との電子マネー相互利用開始
3. 29	「ICOCA」とJR東海「TOICA」との3者相互利用開始
	モバイルSuicaとEX-ICサービスの連携開始
	Suica発行枚数2,500万枚
2009. 3. 14	JR北海道「Kitaca」との相互利用開始
	当社エリアの拡大(115駅)
2009. 7. 27	Suicaインターネットサービス開始
2009. 10. 15	Suica発行枚数3,000万枚
2010. 3. 13	JR九州「SUGOCA」、西日本鉄道「nimoca」、福岡市交通局「はやかけん」との相互利用開始
	「ICOCA」「TOICA」との電子マネー3者相互利用開始
2011. 7. 23	スマートフォンでのモバイルSuicaサービス開始
2012. 7. 9	Suica発行枚数4,000万枚

Suica発行枚数の推移

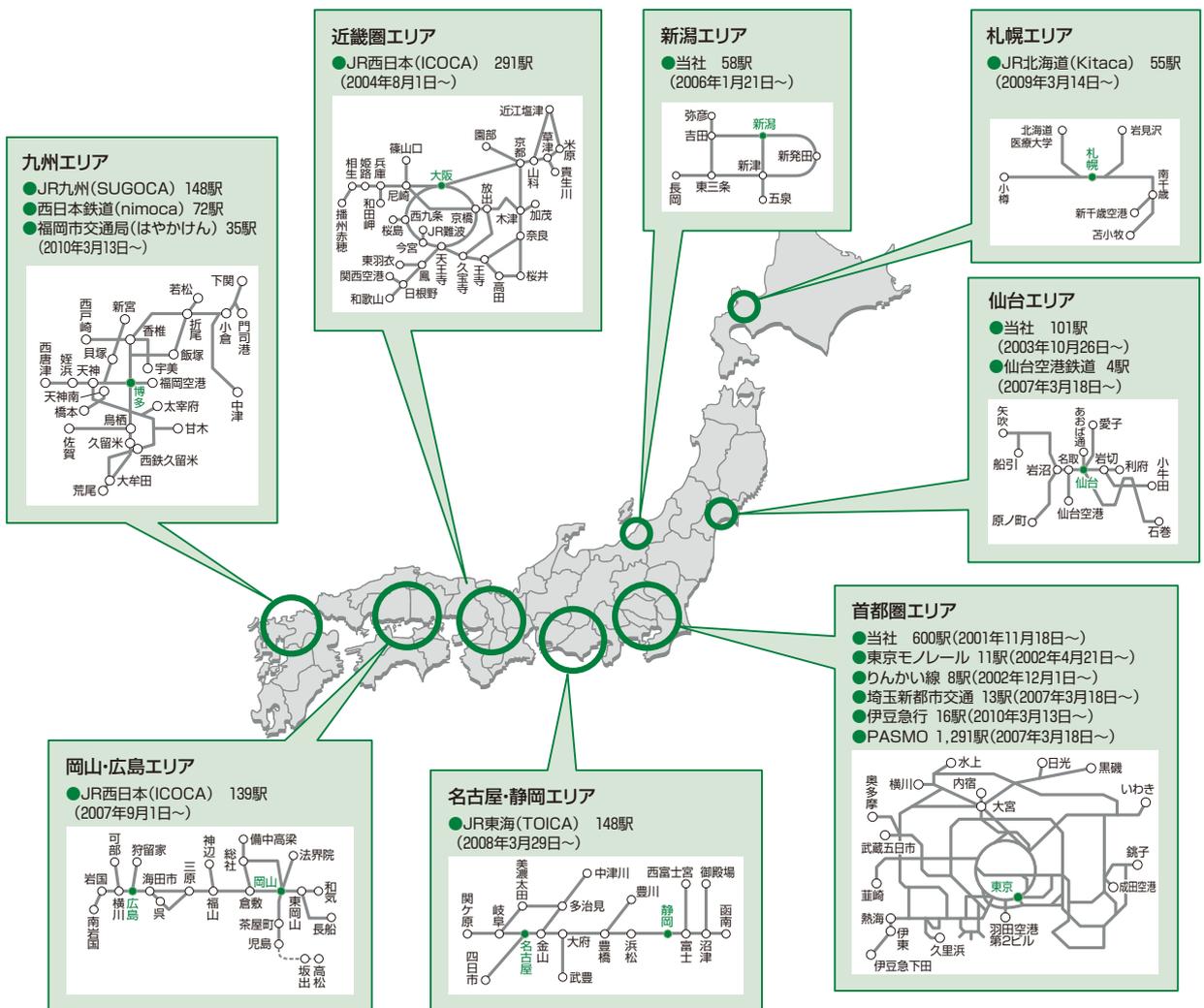


Suicaご利用可能エリア

当社のSuicaご利用可能エリアの首都圏600駅と仙台エリア101駅、新潟エリア58駅に加え、東京モノレール11駅、東京臨海高速鉄道(りんかい線)8駅、埼玉新都市交通13駅、伊豆急行16駅、仙台空港鉄道4駅、PASMOエリア1,291駅、JR北海

道Kitacaエリア55駅、JR東海TOICAエリア148駅、JR西日本ICOCAエリア430駅、JR九州SUGOCAエリア148駅、西日本鉄道nimocaエリア72駅、福岡市交通局はやかけんエリア35駅でご利用可能です。

(2012年7月31日現在)



● 相互利用の推進

お客さまの利便性の向上およびコストダウンなどのICカード導入の効果をより高めるため、Suicaと他の交通事業者とのIC

カードの相互利用を積極的に推進しています。

● 首都圏における相互利用

2007年3月18日から、首都圏の他の鉄道事業者・バス事業者が発行するICカード「PASMO」とSuicaの相互利用を開始しました。

これによりSuicaは、首都圏・仙台エリア・新潟エリアの当社線はもとより、首都圏のほとんどの私鉄・地下鉄・路線バスでのご利用

が可能となり、世界最大規模のICカードネットワークを実現しました。

なお、相互利用の実施にともなって、共通に発生する業務運営を円滑に行うため、2004年3月に「株式会社ICカード相互利用センター」を設立しました((株)パスマと当社の折半出資)。

● 首都圏ICカード相互利用実施事業者一覧

● 現在サービスを実施している事業者(2012年5月31日現在)

Suicaグループ (鉄道・バス6事業者)							
JR東日本	伊豆急行	埼玉新都市交通	東京モノレール	東京臨海高速鉄道	ジェイアールバス関東		
PASMOグループ							
(鉄道26事業者)							
埼玉高速鉄道	相模鉄道	東武東上線	東武東横線	東武東横線	東武東横線	東武東横線	東武東横線
東武東上線	東武東横線	東武東横線	東武東横線	東武東横線	東武東横線	東武東横線	東武東横線
(バス74事業者)							
伊豆箱根バス	江ノ電バス横浜	江ノ電バス藤沢	小田急バス	小田急シテイバス	神奈川中央交通	湘南神奈交バス	京王バス東
相模神奈交バス	藤沢神奈交バス	川崎市交通局	川崎臨海バス	関東バス	京王バス	京王バス東	京王バス東
京王バス中央	京王バス南	千葉中央バス	千葉内陸バス	千葉内陸バス	千葉内陸バス	千葉内陸バス	千葉内陸バス
ちばインポートバス	ちばシテイバス	ちばグリーンバス	京成タウンバス	京成タウンバス	京成タウンバス	京成タウンバス	京成タウンバス
湘南京急バス	国際興業	小湊鉄道	相模バス	西武バス	西武バス	西武バス	西武バス
東急バス	東急トランセ	東武バスセントラル	東武バスウエスト	東武バスイースト	東武バス日光	朝日自動車	茨城急行自動車
国際十王交通	川越観光自動車	阪東自動車	富士急バス	富士急バス	富士急バス	富士急バス	富士急バス
富士急湘南バス	富士急山梨バス	富士急平和観光	富士急シテイバス	富士急静岡バス	船橋新成バス	習志野新成バス	習志野新成バス
あすか交通	山梨交通	横浜市交通局	横浜市交通局	横浜市交通局	横浜市交通局	横浜市交通局	横浜市交通局

合計106事業者(鉄道・バス兼業事業者の重複を除いた合計は、104事業者)が導入しています。

※鉄道・バス両事業においてIC乗車券システムを導入している事業者(2事業者)

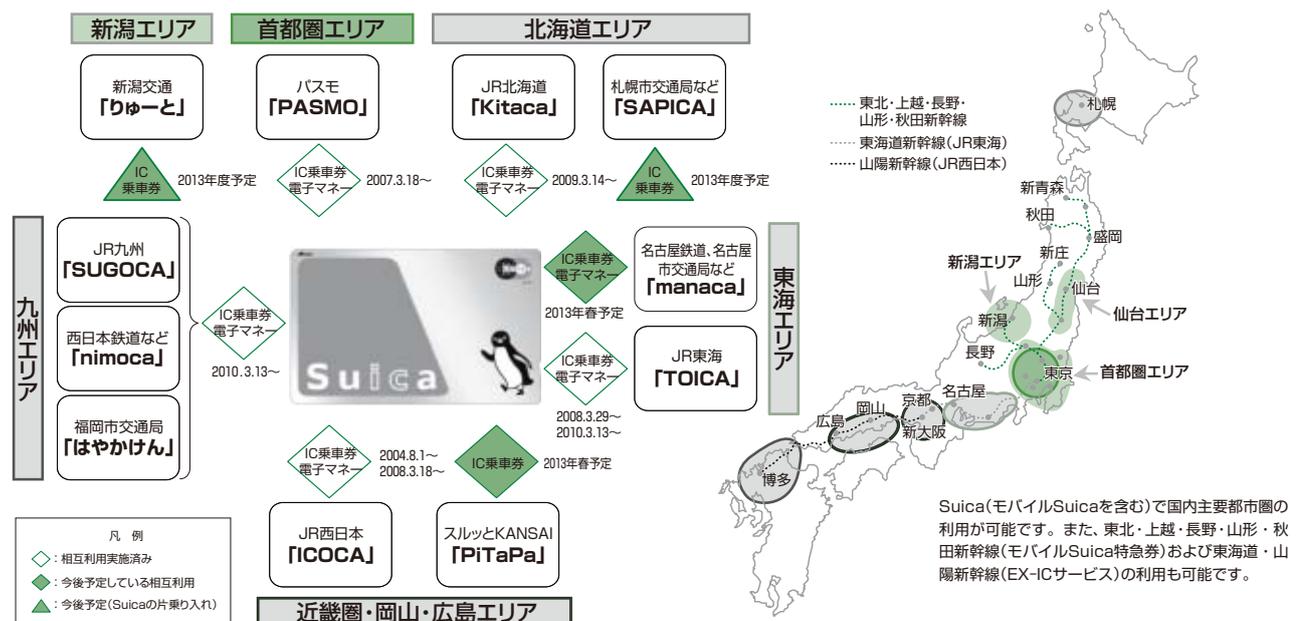
● 他エリアにおける相互利用

2004年8月より、JR西日本「ICOCA」との相互利用サービス(IC乗車券)を開始しました。また、2008年3月より、「ICOCA」との電子マネーの相互利用サービス、ならびにJR東海「TOICA」との相互利用サービス(IC乗車券)を開始するとともに、モバイルSuicaとEX-IC(エクスプレスIC)サービスの連携により、JR東海のEX-ICサービスを、モバイルSuicaでご利用できるようになりました。さらに、2009年3月には、JR北海道「Kitaca」とのIC乗車券および電子マネーの相互利用を開始しました。

2010年3月からはJR九州「SUGOCA」、西日本鉄道「nimoca」、福岡市交通局「はやかけん」と、IC乗車券および電子マネーの相互利用、ならびに「TOICA」との電子マネーの相互利用をそれぞれ開始しました。

2013年春からはKitaca、PASMO、Suica、manaca、TOICA、PiTaPa、ICOCA、nimoca、はやかけん、SUGOCAの10種のICカードの相互利用を行う予定です。また、2013年度中に新潟交通の「りゅーと」エリアおよび札幌市交通局などの「SAPICA」エリアでもSuicaを利用できるようにする予定です。

● Suicaの相互利用イメージ



● グリーン車Suicaシステムの導入

2004年10月のダイヤ改正にあわせ、湘南新宿ライン・宇都宮線・高崎線において、普通列車グリーン車の営業運転を開始するとともに、Suicaを活用した「グリーン車Suicaシステム」を新たに導入し、車内改札を省略しました。さらに、2006年3月のダイヤ改正にあ

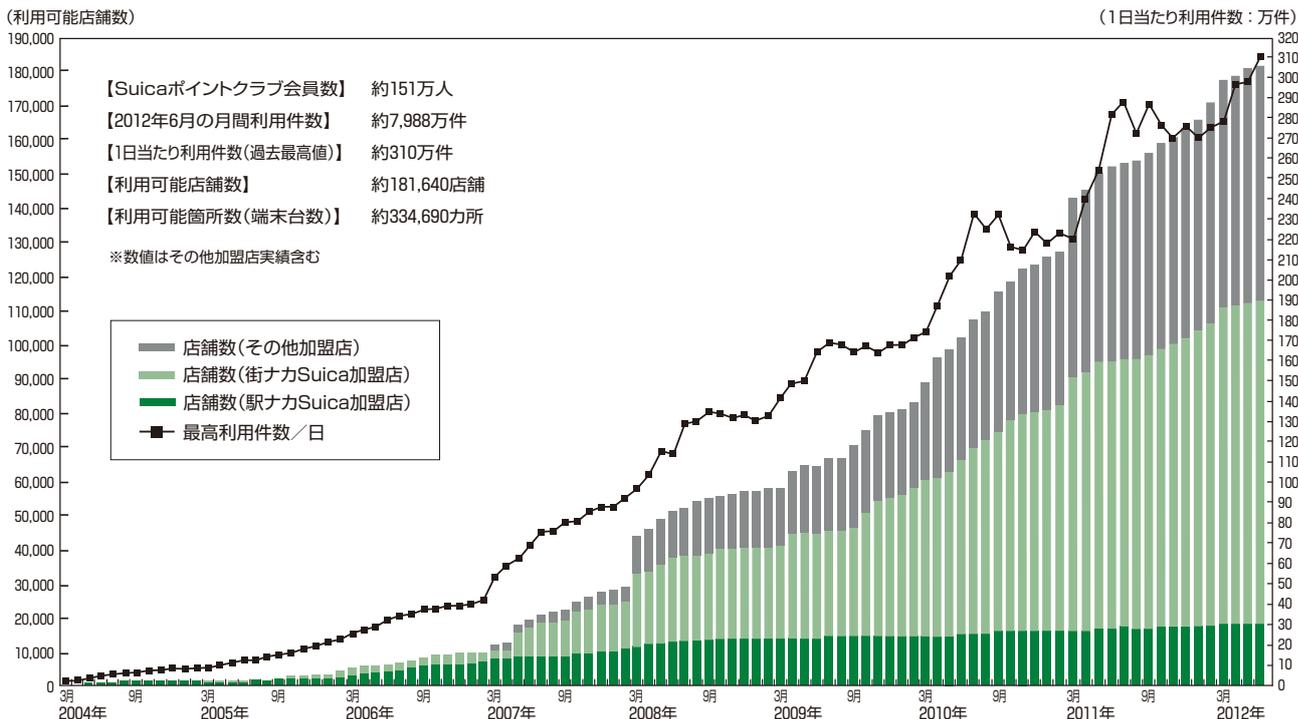
わせ、東海道線・横須賀線・総武(快速)線等に、2007年3月のダイヤ改正にあわせて常磐線(中距離電車)にこのシステムを導入しました。



車内イメージ

Suica 電子マネー利用件数および利用可能店舗数の推移

(2012年6月末現在)



Suicaポイントクラブ

Suicaポイントクラブは、Suica電子マネーの利用促進を目的に、2007年6月1日よりモバイルSuica会員、および「Suica付きビューカード」会員向けのポイントサービスとして開始しました。2010年3月13日からは「Suica定期券」「My Suica (記名式)」などにも対象を拡大しました。

このサービスは、会員がSuicaポイント加盟店マークのある店舗で、登録したSuicaで買い物をすることにより、自動的にポイントがたまるサービスです。たまったポイントはSuica電子マネーに交換することができます。電車やバス、ショッピングなどに利用することができます。

また、提携企業とポイント交換を行うことにより、複数の提携企業ポイントをSuicaポイントにまとめることもできます。

なお、Suicaポイントクラブの会員数は、2012年6月末時点で約151万人です。



Suicaインターネットサービス

インターネットに接続されたパソコンと「FeliCa ポート/パソリ」を使って、Suica へのチャージや、インターネットショッピングの決済に Suica を利用できるサービスであり、2009年7月27日よりサービスを開始しました。「Suica 付きビューカード」「Suica 定期券」「My Suica (記名式)」などで利用が可能です。

本サービスは、1,000円以上1円単位からチャージでき、Suicaの残額上限である20,000円となるよう、残額との差額分を一気にチャージできる「満タンチャージ」機能も提供しています。



Suica電子マネー端末

●共用端末

Suicaのさらなる普及に向け、クレジットカードとの共用端末や、「iD」「WAON」などの、複数の決済サービスが利用可能な共用端末を開発し、商業施設やタクシーに導入しています。

※「iD」は(株)NTTドコモの商標です ※「WAON」はイオン(株)の登録商標です

iD等との共用端末



イメージ

タクシー用端末



イメージ

●Suica対応ハンディ端末

移動販売においてもSuica電子マネーをご利用いただけるようにSuica対応ハンディ端末を開発し、新幹線や在来線特急での車内販売などに導入しています。



Suicaを利用したビル入退館管理システム

普段お使いいただいているSuicaをビル入退館用カードとして利用できるもので、ビルの入退館チェックや、照明・空調・エレベーターなどの制御にも応用できます。

現在、オフィス用のSuica入退館システムをJR東日本本社ビル、サピアタワー、グラントウキョウノースタワー・サウスタワー、Think Parkなどに、またマンション用のSuica入退館システムをBrillia Tower KAWASAKI、びゅうパルク湘南本鶴沼などに導入しています。



● 他の機能と一体化したSuica(多機能Suica)

Suicaの利用促進を目的として、学校・企業などが提供する機能と一体化したSuicaを発行しています(クレジット機能との一体化についてはビューカード(68ページ)を参照してください)。

さらなるサービスの向上ならびに導入先の拡大をめざし、Suica

付学生証(社員証)については東急電鉄が展開するPASMO付学生証(社員証)と管理運用業務を統一し、ひとつの学校(企業)にSuica付学生証(社員証)とPASMO付学生証(社員証)を提供することで、学生(社員)がいずれかを選択できるようにしています。

名称	提携先	発行開始	備考
ゆうちょICキャッシュカードSuica	ゆうちょ銀行	2009. 4	ゆうちょ銀行のICキャッシュカードとの一体化(定期券機能無し)
Suica付学生証 Suica付社員証	学校、企業等	2008.11	学生証・社員証との一体化(定期券機能有り) 明治大学(2008年11月)、山野美容専門学校(2009年4月)、東芝プラントシステム(2009年5月)、東芝ファイナンス(2009年10月)などに導入



ゆうちょICキャッシュカードSuica



Suica付学生証

● 「モバイルSuica」サービス

携帯情報端末にSuica機能を搭載した「モバイルSuica」は、カードタイプのSuicaと同様に自動改札機などのSuicaマークのついた読み取り部にタッチするだけで利用できます。「モバイルSuica」サービスは、カードタイプのSuicaの利便性に加え、携帯情報端末の特徴(通信機能、表示機能)を活用して、「いつでもどこでも」チャージやSuica定期券、Suicaグリーン券の購入、残額や利用履歴の表示が可能です。

2008年3月15日からは、「モバイルSuica」でJR東日本の新幹線(東北・山形・秋田・上越・長野)をチケットレスで利用できる「モバイルSuica特急券」のサービスを開始しました。モバイルSuica特急券を購入後、チケット情報を携帯情報端末へダウンロードすれば、新幹線改札機をタッチ&ゴーで利用でき、新幹線の駅相互間は、紙のきっぷの自由席のお値段以下で普通車指定席にご乗車できます。

さらにスーパーモバイルSuica特急券では、モバイルSuica特急券や回数券よりもさらにおトクにご利用できます。

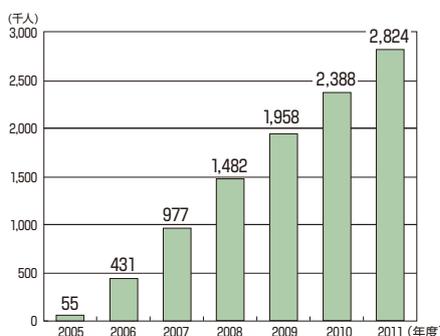
また、JR東海が提供している「EX-IC(エクスプレスIC)サービス」についても、JR東海「エクスプレス予約」(年会費1,050円)へのご入会により、モバイルSuicaの携帯情報端末でもご利用できます。

さらに2011年7月23日より、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)が展開するおサイフケータイ®Android™搭載スマートフォンでも、「モバイルSuica」サービスを開始し、会員数は2012年7月に290万人を突破しました。



利用イメージ

● モバイルSuica累計会員数の推移



● 「おサイフケータイ®Android™搭載スマートフォン」によるサービス

「おサイフケータイ®Android™搭載スマートフォン」では、従来のサービス内容に加え、スマートフォンならではの機能と

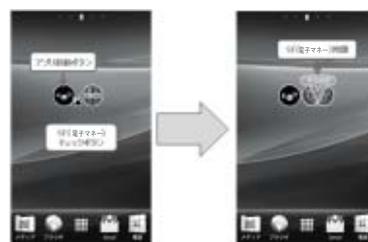
して、「クイックチャージ」「トップ画面での購入内容の表示」「ウィジェットによる残高確認」をご利用できます。

● トップ画面での購入内容確認およびクイックチャージ



- ・トップ画面上の左横にある「▼」マークをタップすることで、現在所持しているSuica定期券やSuicaグリーン券、モバイルSuica特急券などの購入内容を確認できます。またクイックチャージのメニューが表示されます。
- ・クイックチャージとは簡単操作で入金(チャージ)ができる新しいサービスです。
- ・また、右横にある「>」マークをタップすると、SF(電子マネー)などの履歴など、詳細な情報も確認できます。

● ウィジェットでSF(電子マネー)残高の確認



- ・ウィジェット機能を使えばアプリを起動することなく、簡単にSF(電子マネー)の残額が確認できます。

ビューカード

● ビューカードのあゆみとカードのラインナップ

1993年 2月 2日	ビューカード発行開始
1994年 4月 1日	ビュー・ジバンクカード発行開始
1996年 7月 24日	ビューカード受付会員数100万人達成
1997年 2月 1日	ルミネカード発行開始
1998年 4月 1日	ビュー法人カード発行開始
1999年 10月 1日	提携キャッシング開始(第一勧業銀行、富士銀行、東京三菱銀行、郵便局/当時)
2000年 4月 1日	VISAとの提携開始
2000年 8月 1日	インターネットでビューカード申込受付開始
2001年 5月 8日	ビューカード受付会員数200万人達成
2001年 7月 1日	カードシステム「VENUS」稼働開始
2001年 10月 1日	VIEW ALLTTEの設置開始
2001年 10月 1日	代行業の開始(決済代行・融資代行)
2002年 7月 16日	不正検知システム「ACE」の導入
2003年 3月 7日	カード事業部としてISO9001:2000認証取得
2003年 3月 17日	ビューカード会員のインターネットサービスVIEW's NET開始
2003年 7月 1日	「ビュー・スイカ」カードサービス開始
2003年 7月 1日	JCBとの提携開始
2003年 10月 1日	「ビュー・スイカ」カードの「サンクスチャージ」サービス開始
2003年 10月 26日	TYO ビュー・スイカカード、エスバルビュー・スイカカードの発行開始
2004年 3月 1日	MasterCardとの提携開始
2004年 4月 30日	ビュー・スイカVISAカードの国際化
2004年 6月 1日	ルミネカード(ビュー・スイカ付き)発行開始
2004年 7月 27日	ビューETCカードサービス開始
2005年 1月 4日	JALカードSuica発行開始

2005年 5月 26日	ビューカード受付会員数300万人達成
2005年 6月 1日	大人の休日倶楽部カード発行開始
2006年 1月 10日	定期券機能付「ビュー・スイカ」カード発行開始
2006年 3月 1日	ビジネスえきねっとカード発行開始
2006年 3月 15日	ビックカメラSuicaカード発行開始
2006年 8月 23日	ビューカード受付会員数400万人達成
2006年 10月 1日	オートチャージサービス開始
2006年 10月 13日	アトレクラブビューSuicaカード発行開始
2007年 1月 12日	カード事業部としてISO27001:2005認証取得
2007年 2月 1日	新カードシステム「VENUS II」稼働開始
2007年 2月 1日	イオンSuicaカード募集開始
2007年 2月 13日	スーパーICカードSuica「三菱東京UFJ-VISA」募集開始
2007年 12月 6日	ビューカード受付会員数500万人達成
2008年 3月 17日	Yahoo! JAPANカードSuica募集開始
2008年 3月 25日	TOYOTA TS CUBIC VIEW CARD募集開始
2008年 10月 20日	みずほマイレージクラブカード(セゾン)Suica募集開始
2008年 10月 20日	SMBC CARD Suica募集開始
2008年 10月 22日	ANA VISA Suicaカード募集開始
2009年 3月 31日	オートチャージ設定者100万人達成
2009年 4月 20日	横浜バンクカードSuica募集開始
2009年 7月 25日	オートチャージ(リンク)サービス開始
2009年 9月 1日	全額出資子会社として株式会社ビューカード設立
2010年 2月 1日	クレジットカード事業等を株式会社ビューカードに分割し本格的な事業運営がスタート
2010年 3月 13日	モバイルSuicaオートチャージサービス開始

●「ビュー・スイカ」カード

ビューカードとSuicaが一体化したカードです。JCB・VISA・MasterCardの3つのブランドから選択できます。クレジット決済だけでなく、Suicaとして電車に乗ることができるほか、店舗での買い物もできる多機能カードです。また、2006年1月からは定期券機能を追加しました。



●大人の休日倶楽部カード

「大人の休日倶楽部」会員専用のカードです。JR東日本線のきっぷが何回でも割引になるほか、会員限定の割引きっぷも期間限定で購入できるなど、多くの特典で会員を集めています。年齢によりミドル用、ジバンク用の2種類があります。



●ルミネカード

ルミネでのショッピングが5%割引になるほか、定期券機能も搭載しています。



●グループ外企業との提携カード



●JALカードSuica

クレジット利用でマイルがたまります。



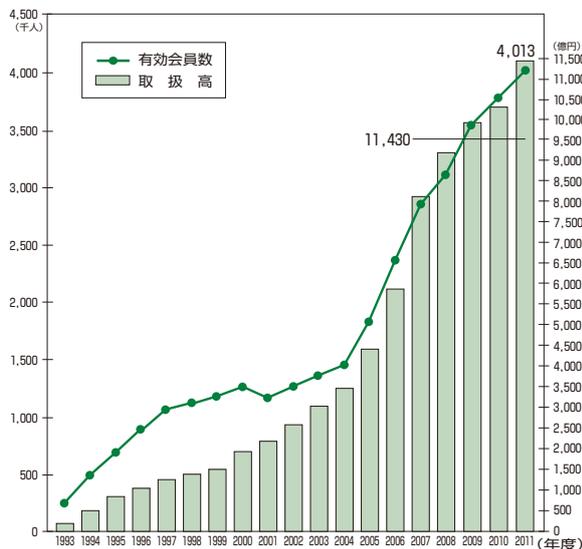
●ビックカメラSuicaカード

ビックポイントカードとSuica付きビューカードが一体化。

●その他の主なカードのラインナップ

	Suica付き	Suica無し
鉄道系	「ビュー・スイカ」リボカード TYOビュー・スイカカード	のんびり小町ビューカード めぐり姫ビューカード
生活サービス系	エスバルビュー・スイカカード ジェクサービュー・スイカカード weビュー・スイカカード アトレクラブビューSuicaカード	ペリエカード フェザンカード
提携カード	イオンSuicaカード スーパーICカードSuica「三菱東京UFJ-VISA」 Yahoo! JAPANカード Suica みずほマイレージクラブカードセゾンSuica ANA VISA Suicaカード SMBC CARD Suica 横浜バンクカードSuica	TOYOTA TS CUBIC VIEW CARD

● ビューカード有効会員数・取扱高



● オートチャージサービス

自動改札機で入場する際、Suicaのチャージ残額があらかじめ設定した金額以下の場合に、自動的に入金(チャージ)されるサービスで、チャージ額はクレジット決済となります。チャージの手間が省ける利便性が好評でご登録者は大きく伸びています。

2006年10月よりSuica付きビューカードでのサービスを開始しており、2009年7月からはビューカードと関連付けられたMy Suica(記名式)等でも設定を可能としました。さらに2010年3月からは決済カードがビューカードで登録されているモバイルSuicaも本サービスの対象とし、サービス拡充を推進しています。

ビューカードのサービス

(2012年6月末現在)

年会費	ビューカード、「ビュー・スイカ」カード：500円など(カードの種類によって異なります)
利用可能箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピング JR東日本のみどりの窓口、びゅうプラザ、指定席券売機、多機能券売機、JR各社の主な窓口、JR東日本の駅構内の主な店舗・駅ビル・ホテル・駅レンタカー等 国内外のJCB加盟店、VISA加盟店、MasterCard加盟店 ・キャッシング (2009年4月1日以降、新規にご契約いただいたビューカードではキャッシングサービスはご利用いただけません) VIEW ALTTE、提携金融機関のCD・ATM等

駅のATMコーナー「VIEW ALTTE」(ビューアルッテ)によるサービス

(2012年6月末現在)

名称	駅のATMコーナー「VIEW ALTTE」(ビューアルッテ)	
設置台数	184駅などに268台	
サービス内容・機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用代金のお支払い ビューカード ・ビューカードによるSuicaへの入金(チャージ) ・オートチャージの設定・解除・条件変更 ・サンクスチャージ クレジットのご利用でたまったビューサンクスポイントをSuica付きビューカードのSuica部分へ入金(チャージ)できます。 ・提携先ポイントのSuicaへの入金(チャージ) 「JALカードSuica」のご利用でたまったJMBマイルや「ビックカメラSuicaカード」のご利用でたまったビックポイント、その他の提携カードのポイントをSuica部分へ入金(チャージ)できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシング ビューカード、提携カード ・銀行等キャッシュカードでの預貯金引出、残高照会



問い合わせ先

ビューカードセンター	会員のお客さまからの各種変更届けやお問い合わせに対応します。 TEL 03-5334-1235 営業時間 9:00~17:30
ビューカード紛失・盗難デスク	カードの使用を停止し、カードの安全を守ります。 TEL 03-5334-1199(24時間営業・年中無休)
VIEW's NET	インターネット上で利用額やポイント数の確認、ビューサンクスプレゼントの応募、登録内容の変更などのサービスがご利用いただけます。 http://www.jreast.co.jp/card/

※ ①マークのあるカードは除きます

びゅう商品券

1995年4月に発売を開始した「びゅう商品券」はJR東日本の駅・びゅうプラザのほか、駅ビル、ホテル、KIOSKなどのグループ会社、加盟デパートや量販店の6,000店舗で利用できる便利な商品券です。



(500円、1,000円、10,000円券の3種類があります)

WiMAX

IT技術によるお客さま満足の向上をめざし、WiMAXを当社のもつ「ネットワーク」の潜在価値を引き出す技術の一つとして位置づけています。現在、以下のサービス

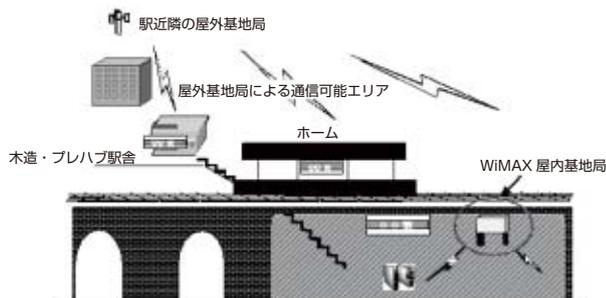
の展開を行っているほか、さらなる利活用をめざしています。

※ WiMAX：UQコミュニケーションズ㈱等が提供する高速無線通信サービス

● 駅構内へのWiMAX基地局設置

2012年3月までに首都圏を中心とした153駅にWiMAX屋内基地局を約330局設置し、屋外からの電波が届きにくい改札内のコンコースや地下ホームなどでも、WiMAXによるインターネット接続をご利用可能としています。

駅構内におけるWiMAX 屋内基地局設置概要



屋外基地局からの電波が届きにくいエリア(コンコースや地下ホームなど)でも駅構内への基地局設置によりインターネット接続が可能に

● 特急列車でのサービス提供

特急成田エクスプレスや新型ひたちでは、車内に設置した無線LANのアクセスポイントから、屋根上のアンテナを通してWiMAX網に接続することで、車内でのインターネット接続を可能としています。